(科目コード: 7006420007AA)

【改訂】第9版(2017-03-14)

【科目】科学英語B

【科目分類】 一般科目 【**選択・必修の別**】 選択必修 【学期・単位数】後期・1単位

【対象学科・専攻】 生産システム,環境 2年

【担当教員】 八鳥 吉明

【授業目標】

基本的な英単語・英熟語ならびに理工系専門用語を理解できる。

英文法ならびに英語構文の重要事項を理解できる。

上記項目の理解に基づきながら、理工系英文を読み、内容を理解することができる。

英文を音読することができる。

音声から基本的な理工系英語表現の内容を理解することができる。

【教育方針・授業概要】

本科目は学修単位科目であり、授業時間30時間に加えて、自学自習時間60時間が必要である。

- 1 . 語彙・・・・・英語力強化のために語彙力の増強を促進する。
- 2. 英文法・・・・英文法の重要事項を確認する。
- 3.英文読解・・・単語・熟語・英文法の知識を有機的に結び付けて英文を読む訓練を行う。
- 4.発音・音読・・英単語の発音に注意を払い、英文の音読訓練を行なう。
- 5. リスニング・・音声から英語を理解する訓練を行う。

上記項目をおさえながら、科学英語の総合的運用能力の基礎を築く。

【教科書・教材・参考書 等】

教科書:Getting to Know Engineering Genres エンジニアのための総合英語:村尾純子他:三修社:9784384334456 授業では、独自に編集したプリント教材を使用する。

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

授業形式:座学

使用機器:CDプレーヤー

【メッセージ】

専攻科の英語学習では、自律的・主体的学習が何よりも重要です。

【事前に行う準備学習】

授業毎に、次回の授業までに準備しておくべきことを具体的に指示するので、予習してきて下さい。

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法				
1	単語や熟語、理工系専門用語の意味を確認しつつ、文のかたち(文	75 %	2回の試験で60%の評価に対応させる。				
	法や構文)にも注意を向けながら、理工系英文を読み、内容を理解		提出レポートの内容で15%の評価を行なう。				
	することができる。						
2	教科書の英文を音読し、基本的な理工系英語表現の内容を聴き取る	25 %	2回の試験で20%の評価に対応させる。				
	ことができる。		提出レポートの内容で5%の評価を行なう。				

【本校の学習・教育目標】

(E-3) 母国語以外の外国語で自己の考えを伝える基礎的能力を獲得する

【JABEE評価】

日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュ (f) ニケーション基礎能力 【授業計画】(科学英語B)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	. イントロダクション	. 授業のガイダンス	課題(=宿題)と	英文読解と
	. Chapter 12	. Robots are getting closer to having	演習結果の提出	問題演習
		humanlike abilities and senses		
第2回~第7回	Chapter 12 ~ Chapter 16	· Robots are getting closer to having humanlike	課題(=宿題)と	英文読解と
		abilities and senses	演習結果の提出	問題演習
		· Nanotech scientist aspires to master 'alchemy		
		of gases'		
		· Big battery eyed as green energy cure		
		· Scientists now creating millions of organisms		
		from scratch		
		· Japanese supercomputer shows detailed cloud		
		movements on Earth's surface		
第8回	中間試験	既習の学習事項の確認		
第9回~第15回	Chapter 17 ~ Chapter 20	• Firm wants your smartphone to be able to smell	課題(=宿題)と	英文読解と
	Chapter 22	 Robot wheelchairs would read users' minds 	演習結果の提出	問題演習
		 Kyoto researchers develop DNA software that 		
		can halt food fraud		
		 Industries studying possible next big thing: 		
		Terahertz waves		
		· New research aims to teach computers common		
		sense		